

各 位

会 社 名 株式会社システムソフト
 代表者名 代表取締役社長 吉 尾 春 樹
 (J A S D A Q ・ コード 7 5 2 7)
 問合せ先 取締役執行役員管理部長 緒 方 友 一
 T E L 0 9 2 - 7 1 4 - 6 2 3 6

固定資産の売却方針決定及びこれに伴う特別損失計上に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 11 月 12 日開催の取締役会において、下記のとおり固定資産の売却方針を決議いたしました。また、併せて平成 19 年 9 月期決算において当該固定資産の簿価と売却予定下限価額との差額を減損処理することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 売却対象の固定資産

名 称	所在地	地 積	延床面積	簿価 (19/9 末)	売却予定 下限価額	差額 (減損)
本社土地・建物	福岡県福岡市 中央区天神	407.00 m ²	2048.73 m ²	2,255 百万円	902 百万円	1,353 百万円
福間遊休地	福岡県福津市 西福間	875.64 m ²	—	25 百万円	25 百万円	— 百万円

2. 売却方針決定の理由

当社は、平成 19 年 9 月期決算において多額の損失計上が見込まれるものの、今後は継続的に事業を拡大させる計画を立てております。これを踏まえ、中期的な損益へのメリット、財務体質改善、早期の復配の観点から、次の内容にて当社が所有する土地・建物の売却方針の決定を行い、併せて減損処理を行うことといたしました。

当社本社土地・建物は、取得時に比して地価が 50%以上下落したことにより、簿価と実勢価格との乖離が生じ、「減損の兆候を把握」しております。これまで、この「減損の兆候を把握」については当社事業全体の将来キャッシュフローとの比較検討において「減損処理は不要」との判断を行ってまいりました。

一方で、中期的な観点は、システム開発関連が順調に推移する見込みであること、ま

た、不動産ポータル関連につきましても分譲マンション等の強みを持つ分野に特化したサイト運営を行うこと、当社が属するアパマンショップグループが新規に展開するグループ不動産ポータルと連携をとりながら事業をすすめること等により、事業全体の拡大を予測しております。

将来の事業拡大を見据えた場合、現在の本社ビルでの事業運営が手狭になることが予測されます。また、当社が所在する福岡市天神地区におきましては、地価下落が収まり、一転して地価上昇の情勢を迎えております。

早期の株主の皆様への復配を検討するにあたり、本社移転による将来の減損の計上、または売却による将来の売却損の計上は、その阻害要因になると予測されます。

そのため、平成19年9月30日時点での株式会社谷澤総合鑑定所による鑑定評価を基に、売却下限価額を定め、売却方針を決定し、簿価との差額の減損処理を行うことは株主の将来の利益にとって得策であると判断いたしました。また、併せて、当社が所有する福岡地区の遊休不動産（投資用土地）につきましても、同様の理由にて売却の方針を決議いたしました。

3. 売却先、日程等

平成19年11月12日	売却方針の取締役会決議
平成21年09月30日	売却期限

具体的な売却先、売却価額、売却時期については未定であり、確定次第お知らせいたします。

4. 業績への影響

売却方針の決定により、平成19年9月期決算において1,353百万円の減損処理を行う決議を行っております。減損処理後の業績につきましては、本日公表の「平成19年9月期通期（連結・単独）業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、具体的な売却先、売却価額、売却時期については未定であります。売却時における業績への影響は、確定次第お知らせいたします。

以 上